熊本県伝統工芸館 指定管理者 令和元年度(2019年度) 管理運営評価票

所管部課: 商工観光労働部観光物産課

I 施設の管理概要

指定管理者名		一般財団法人熊本県伝統工芸館
指定期間		平成28年4月1日~令和3年3月31日
設置目的		本県の伝統的工芸品産業の振興及び発展を図る
施設概要	施設区分	伝統的工芸品等の展示・販売施設 名 称:熊本県伝統工芸館 施設規模:敷地面積4,094㎡ 鉄筋コンクリート造(地上2階、地下1階)
指定管理料		78, 876, 364円

Ⅱ 管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目 標 値	実績値	備考
年間総入館者数	150,000人	138, 341人	
販売売上	51,000千円	37, 976千円	

【点検・調査結果及び評価】

入場者数は、2月以降の新型コロナウイルス感染対策による休館等の影響により、来館者が急激に減少ししたため、目標値の約92%にとどまった。

販売売上も目標達成に至らなかったが、新商品開発(人気キャラクターとのコラボ)やオンライン販売の促進(オンラインに適した日用品等に特化したセール等を実施)により、次年度以降の実績増加が期待できる。

2 管理業務実施状況

① 施設維持管理業務実績

	中 中	+	.
作業項目	実	施日	内 容
清掃	(日常)	通年	仕様書及び事業計画のとおり実施
7月 1市	(定期)	年1~3回	仕様書及び事業計画のとおり実施
保守・点検	(日常)	通年	仕様書及び事業計画のとおり実施
床寸 ⁻ 点换	(定期)	年2~6回	仕様書及び事業計画のとおり実施
保安・警備		適宜	仕様書及び事業計画のとおり実施
施設維持管理		適宜	仕様書及び事業計画のとおり実施

【点検・調査結果及び評価】

事業計画のとおり実施されており、適正な運営がなされている。

② 運営事業実績

[主な事業・イベント]

開催日時	参加者数	内 容
の企画展示)		
2/26~4/7	1, 220人	館収蔵品の木工芸品を展示した展 覧会
4/23~6/2	1, 431人	日本最高峰の漆芸作家の最新作 9 1 点を展示
6/18~9/1	1, 714人	熊本県の伝統的工芸品アーカイブ 事業の成果を基に、県内4人の工 芸家を紹介する企画展(第1回 目)
9/18~12/15	3, 035人	熊本県の伝統的工芸品を紹介する 企画展
1/7~2/16	910人	館収蔵品を紹介する企画展
2/26~6/7	325人	熊本県の伝統的工芸品アーカイブ 事業の成果を基に、県内4人の工 芸家を紹介する企画展(第2回 目)
ナる企画展示会)		
10/29~11/4	1, 977人	「くらし」をテーマに県内外から 作品を公募し、入賞・入選作品を 展示・販売
:会>		
7/9~7/15	875人	工芸館友の会との共催。全国の工 芸品を展示販売
7/30~8/4	263人	熊本県伝統工芸協会と共催。工芸 教室を開催。
8/14~8/18	1, 380人	熊本県伝統工芸協会との共催事業 家族で体験できる工芸教室の開催
11/26~12/1	1,825人	熊本の工芸品をトータルリビング で提案し展示販売
2/11~2/16	949人	伝統工芸友の会との共催事業 全国の工芸品を展示販売
	の企画展示) 2/26~4/7 4/23~6/2 6/18~9/1 9/18~12/15 1/7~2/16 2/26~6/7 ナる企画展示会) 10/29~11/4 会> 7/9~7/15 7/30~8/4 8/14~8/18 11/26~12/1	プ企画展示) 2/26~4/7 1,220人 4/23~6/2 1,431人 6/18~9/1 1,714人 9/18~12/15 3,035人 1/7~2/16 910人 2/26~6/7 325人 ナる企画展示会) 10/29~11/4 1,977人 会> 7/9~7/15 875人 7/30~8/4 263人 8/14~8/18 1,380人 11/26~12/1 1,825人

【点検・調査結果及び評価】 伝統工芸品の展示を中心とした展示販売会や工芸教室等の開催を行い、事業計画通りに適正な 運営がなされている。

3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
	開館日数	358	351	102. 0
2 階常設展示室	利用日数	245	211	116. 1
2 陷 吊 設 展 小 主	入場者数	7, 604	10, 080	75. 4
	利用可能日数 利用率	358	351	102. 0
1 階展示室	利用日数	334	347	96. 3
	利用率	93. 3	98. 8	94. 4
	人場者数	36, 408	45, 596	79. 8
	利用可能日数	349	351	99. 4
工房	利用日数	241	247	97. 6
上房	利用率	69. 1	70. 4	98. 2
	入場者数	3, 949	4, 166	94. 8
	利用可能日数	306	302	101. 3
1階ショップ匠	利用日数	300	302	99. 3
一直ショック匠	利用率	98. 0	100.0	98. 0
	入場者数	29, 002	31, 536	92. 0
	利用可能日数	358	351	102. 0
2 階展示室A	利用日数	351	253	138. 7
と阻放小主が	利用率	98. 0	72. 1	135. 9
	入場者数	21, 345	20, 121	106. 1
	利用可能日数	358	351	102. 0
2 階展示室B	利用日数	322	267	120. 6
と阻成が至り	利用率	89. 9	76. 1	118. 1
	入場者数	18, 746	17, 273	108. 5
	利用可能日数	358	357	100. 3
2階会議室	利用日数	15	11	136. 4
	利用率	4. 2	3. 1	135. 5
	利用日数 利用率 入場者数	281	189	148. 7
	利用可能日数	358	351	102. 0
和室	利用日数	262	210	124. 8
1	利用率	73. 2	59.8	122. 4
	入場者数	13, 556	10, 990	123. 3
	利用可能日数	358	351	102. 0
地下会議室	利用日数	112	91	123. 1
地下云硪王 	利用率	31. 3	25. 9	120. 8
	入場者数	7, 450	6, 999	106. 4

【点検・調査結果及び評価】 貸展示室は概ね高い利用率で推移したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により2月以降 の会場貸出しのキャンセルが相次いだ。

4 管理経費の収支状況

(1)	IJΦ	7
()	μν	

項目		内 訳	金額(円)
利用料金収入	常設展示室	観覧料	1, 007, 710
トリカイン・ ・会議室		使用料	7, 949, 190
指定管理料		県受託金	78, 876, 364
運営事業等収入		運営事業収入等	282, 826
販売手数料収入		ショップ・ネットショップ販売手数料	11, 896, 123
合 計			100, 012, 213

0 収入未済額 0 うち利用料金収入分

② 支 出		
項目	内訳	金額(円)
事業費	人件費・消耗品費・光熱水費・展示室事業費・租税公課等	95, 858, 837
管理費	役員報酬等	1, 106, 211
合計		96, 965, 048

【点検・調査結果及び評価】 適切に支出されている。

利用者調査結果

	イロント												
	調査年月日	平	成3	1年4	.月~	·令和	12年	3月					
調査実施内容	調査方法	ア	アンケート調査(来場者)										
	調査対象数	1	5 2 🕆										
							答	174	内	容			
=== * * * =	調査分野	とてもよい		よい		普	通	あまり な	りよく い	悪	い わからな		からない
調査結果		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	職員対応状況	40	26	54	36	44	29	5	3	0	0	9	6
	ショップの品揃え	38	25	73	48	28	18	5	3	0	0	8	6
利用者からの意見等									居心均 今			十咸	2. といっと かいまん かいまん かいしょう しんしょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ
		ため			1-0-	ж <i>и</i>	· '& \	C 73.	ە د ىتە 0	(A) ±	. – –) NS. 7	

【調査結果及び評価】

アンケートの結果は6割程度が良いと感じており、概ね良いサービスが提供できていると考えら れる。

※実際の調査項目に応じて、適宜様式を変更すること。

世桂笠のおけ

利用者からの意見・苦情等	改善、状況
特になし	
【調査結果及び評価】	

吹ケウングライン カギナドはしょ すびになけてなか

/ 昨年度の評価で、改善を指摘した事項	に対する対応				
指摘事項	改善内容・結果				
なし					
【調査結果及び評価】					

- 8 その他 ・ラグビーワールドカップや女子ハンドボール世界選手権が10月から12月にかけて開催され たことにより、外国人や県外客の来館者が増加したが、2月以降は新型コロナウイルス感染拡大 の影響を受けて来館者は急激に減少した。
- ・販売促進(需要拡大)事業については、国際スポーツイベント等により外国人の購入が増加し た面もあったが、全体としては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、昨年度より2割を 超える減少となった。